

平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社OSGコーポレーション

コード番号 6757 URL <http://www.osg-nandemonet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 溝端 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 藤沢 和一

TEL 06-6357-0101

四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	4,094	2.6	238	2.6	233	2.4	94	△0.4
26年1月期第3四半期	3,989	3.1	232	27.4	227	31.8	94	△21.5

(注)包括利益 27年1月期第3四半期 111百万円 (0.7%) 26年1月期第3四半期 110百万円 (△20.6%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	20.97	—	—	—
26年1月期第3四半期	21.06	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
27年1月期第3四半期	3,991	2,162	2,162	52.4	52.4	464.50	464.50	
26年1月期	3,951	2,141	2,141	52.4	52.4	460.11	460.11	

(参考)自己資本 27年1月期第3四半期 2,090百万円 26年1月期 2,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	4.8	450	43.3	450	47.0	230	45.0	51.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年1月期3Q	5,000,000 株	26年1月期	5,000,000 株
② 期末自己株式数	27年1月期3Q	500,261 株	26年1月期	500,215 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年1月期3Q	4,499,774 株	26年1月期3Q	4,499,785 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況により異なる結果となる場合がありますのでご承知おさください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済・金融政策を背景に雇用環境が改善され、緩やかな回復基調にありましたが、7～9月期GDP速報値が2四半期連続のマイナス成長となるなど、消費税増税に伴う景気減速が鮮明となっております。これを受け、2015年10月に予定されていた消費税率の10%への引き上げを1年半先送りすることにより、個人消費、設備投資は持ち直しの動きが期待されるものの、海外景気の下振れが引き続きわが国経済を下押しするリスクとなっております。

このような経済状況のもと、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）としては、健康志向の高まりによる飲料水に対する安心安全や、熱中症対策としての飲料水へのニーズに加え、衛生市場においては国立研究機関への当社殺菌システムの導入実績を背景に、衛生管理のニーズが高い食品・飲料メーカーや、医療施設及び研究施設に対し、積極的な営業展開を行ってまいりました。

また、2020年の東京五輪開催により、既に五輪競技施設を始めとして公共施設に数多くの導入実績のある当社としては、今後計画されている新しい五輪競技施設の建設や改修及びインフラ整備によって、ウォータービジネスは今後も成長すると判断し、さらなる事業の拡大を図るべく営業活動を推進してまいりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

水関連機器事業につきましては、水自販機ビジネスにおいて、新たな取引業界での新規開拓が順調に進み、計画通り推移しました。ウォータークーラービジネスにつきましても、新規の建設物件におけるスペック獲得が順調に推移しましたが、家庭用製品につきましては、新規販売店の獲得が計画より遅れたことにより、売上高1,844,834千円（前年同四半期比8.0%減）、営業利益121,183千円（同28.8%減）となりました。

メンテナンス事業につきましては、予定通りに推移し、売上高1,279,736千円（同3.7%増）、営業利益214,199千円（同7.3%増）となりました。

HOD（水宅配）事業につきましては、ウォーターサーバー及びボトルドウォーター等の販売は順調に進みましたが、前期比較としてはプラントの販売が減少したこと及び商品の一部評価損を処理したことにより、売上高720,963千円（同0.2%減）、営業利益3,475千円（前年同四半期は営業損失17,331千円）となりました。

以上のような状況で推移した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,094,580千円（同2.6%増）となりました。営業利益238,813千円（同2.6%増）、経常利益233,000千円（同2.4%増）となり、四半期純利益は、第1四半期に計上した3年前のインド市場準備のための出資による投資有価証券評価損8,700千円や法人税等の負担が増加したことにより、94,371千円（同0.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,304,515千円となり、前連結会計年度末に比べ20,703千円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が95,847千円減少いたしました。原材料及び貯蔵品が80,449千円、現金及び預金が74,665千円増加したことによるものであります。固定資産は1,687,185千円となり、前連結会計年度末に比べ19,150千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が38,835千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,991,700千円となり、前連結会計年度末に比べ39,854千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,161,422千円となり、前連結会計年度末に比べ105,757千円増加いたしました。これは主にその他流動負債が73,953千円、支払手形及び買掛金が44,229千円増加したことによるものであります。固定負債は667,931千円となり、前連結会計年度末に比べ87,171千円減少いたしました。これは主に長期借入金が86,995千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,829,353千円となり、前連結会計年度末に比べ18,586千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,162,347千円となり、前連結会計年度末に比べ21,267千円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が14,579千円、利益剰余金が4,375千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.4%（前連結会計年度末は52.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年3月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	570,884	645,550
受取手形及び売掛金	991,160	895,312
商品及び製品	349,159	315,023
原材料及び貯蔵品	274,188	354,637
繰延税金資産	58,180	45,032
その他	42,753	52,391
貸倒引当金	△2,514	△3,432
流動資産合計	2,283,811	2,304,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,184,168	1,186,988
減価償却累計額	△881,272	△901,683
建物及び構築物(純額)	302,895	285,305
機械装置及び運搬具	227,625	227,625
減価償却累計額	△184,359	△191,457
機械装置及び運搬具(純額)	43,266	36,167
土地	723,955	723,955
その他	538,118	551,575
減価償却累計額	△499,248	△517,304
その他(純額)	38,870	34,271
有形固定資産合計	1,108,987	1,079,699
無形固定資産		
ソフトウェア	19,726	45,731
その他	27,605	40,436
無形固定資産合計	47,332	86,167
投資その他の資産		
投資有価証券	45,335	37,671
長期預金	107,000	100,000
長期貸付金	52,572	47,579
繰延税金資産	69,870	60,507
その他	294,732	337,513
貸倒引当金	△57,796	△61,953
投資その他の資産合計	511,715	521,318
固定資産合計	1,668,035	1,687,185
資産合計	3,951,846	3,991,700

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	356,786	401,015
短期借入金	170,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	133,481	141,821
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
リース債務	12,842	21,728
未払法人税等	103,323	31,285
賞与引当金	32,630	86,008
返品調整引当金	18,212	7,220
その他	188,388	262,341
流動負債合計	1,055,664	1,161,422
固定負債		
社債	60,000	20,000
長期借入金	338,914	251,919
リース債務	17,676	44,313
退職給付引当金	159,315	152,774
役員退職慰労引当金	121,308	124,570
資産除去債務	14,378	14,613
その他	43,510	59,741
固定負債合計	755,102	667,931
負債合計	1,810,767	1,829,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,000	601,000
資本剰余金	690,401	690,401
利益剰余金	927,838	932,213
自己株式	△195,576	△195,600
株主資本合計	2,023,663	2,028,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,472	2,244
為替換算調整勘定	45,275	59,854
その他の包括利益累計額合計	46,748	62,099
少数株主持分	70,667	72,232
純資産合計	2,141,079	2,162,347
負債純資産合計	3,951,846	3,991,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	3,989,179	4,094,580
売上原価	1,419,914	1,512,534
売上総利益	2,569,265	2,582,045
販売費及び一般管理費	2,336,494	2,343,232
営業利益	232,770	238,813
営業外収益		
受取利息	4,114	4,769
受取配当金	114	144
その他	6,254	4,439
営業外収益合計	10,484	9,352
営業外費用		
支払利息	9,777	7,003
持分法による投資損失	2,087	965
為替差損	210	2,939
その他	3,607	4,257
営業外費用合計	15,684	15,165
経常利益	227,570	233,000
特別利益		
営業権売却益	3,928	—
特別利益合計	3,928	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	8,700
特別損失合計	—	8,700
税金等調整前四半期純利益	231,499	224,300
法人税、住民税及び事業税	158,676	106,116
法人税等調整額	△11,132	22,247
法人税等合計	147,544	128,364
少数株主損益調整前四半期純利益	83,955	95,936
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△10,791	1,564
四半期純利益	94,747	94,371

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	83,955	95,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,463	771
為替換算調整勘定	25,179	14,785
持分法適用会社に対する持分相当額	△84	△206
その他の包括利益合計	26,559	15,350
四半期包括利益	110,514	111,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,344	109,722
少数株主に係る四半期包括利益	△9,830	1,564

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水関連機 器事業	メンテナ ンス事業	H O D (水宅配) 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,005,562	1,234,591	722,448	26,577	3,989,179	—	3,989,179
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,005,562	1,234,591	722,448	26,577	3,989,179	—	3,989,179
セグメント利益又は損失 (△)	170,164	199,569	△17,331	3,318	355,721	△122,950	232,770

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△122,950千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水関連機 器事業	メンテナ ンス事業	H O D (水宅配) 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,844,834	1,279,736	720,963	249,045	4,094,580	—	4,094,580
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,844,834	1,279,736	720,963	249,045	4,094,580	—	4,094,580
セグメント利益又は損失 (△)	121,183	214,199	3,475	24,971	363,829	△125,015	238,813

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△125,015千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。